

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4070501947
法人名	社会福祉法人 敬寿会
事業所名	グループホーム 美咲ヶ丘
所在地	福岡県北九州市小倉南区新道寺1085番地の1 (電話) 093-453-1222

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成19年9月12日	評価確定日	平成19年9月26日

【情報提供票より】 (平成19年8月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 4月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	15 人 常勤 11人, 非常勤 4人, 常勤換算 8.3人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り平屋 造り
	階建ての ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	500 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成19年8月30日現在)

利用者人数	16 名	男性	3 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.5 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	くまがい内科クリニック 健和会大手町病院 小倉南歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、里山の雰囲気を有する場所に立地している。建物は平屋2ユニットで、庭は広く芝生に覆われ、緑と静けさの中に映える少しモダンな印象を受ける。利用者、家族、事業所、主治医が協力し、希望により最大限のターミナルケアに対応出来るような体制を取っており、事業所での生活が安心して長く続けていけるよう配慮がなされている。全職員が明るく優しく、利用者との関係が家族同様に構築されている。利用者が自発的に役目を持って一日を支え、職員と利用者がお互いに支えあい、助け合って生活をしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価の改善課題については一部職員で検討し、随時改善している。管理者、職員で評価の検討を行い、改善に向けて取り組んでほしい。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、会議を行い、管理者及び職員で取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>行事の日程や取り組み、サービスの質の向上、事業所の運営、特に地域との関わりについての検討を行い、市民センターの協力を得て情報収集や行政への働きかけを行う方向を会議で打ち出している。今後は、会議の定期的な開催と、外部評価への取り組み状況の報告・検討や意見交換も行ってほしい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)</p> <p>家族の来訪時に家族の意見を聴取して意見交換ノートに記載し、管理者や全職員が問題点を認識して、事業所の運営に反映させている。苦情窓口の外部機関については、書面と口頭で家族に説明している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>老人会との交流がある。また、学生の実習やヘルパー研修を受入れ、保育園の行事に参加し、公共機関や民生委員児童委員へ事業所便りの配布を行う等、地域との交流に努めている。</p>

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えているサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「寄り添うゆとりある介護」「事故防止(転倒ゼロ)」「地域に出て行く機会の支援」を掲げ、地域密着型サービスの視点が含まれた事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の引継ぎ時や週1回のケアカンファレンス、月1回の全体会議を通じて理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会との交流がある。また、学生の実習やヘルパー研修を受入れ、保育園の行事に参加し、公共機関や民生委員児童委員へ事業所便りの配布を行う等、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については、会議を行い、管理者及び職員で取り組んでいる。前回評価の改善課題については一部職員で検討し、随時改善している。	○	管理者、職員で評価の検討を行い、改善に向けて取り組んでほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、見学や事業計画・事業への取り組みの報告をしている。	○	運営推進会議の定期的な開催と、外部評価への取り組み状況の報告・検討や意見交換等も行ってほしい。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターと緊密に連絡を取り合い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関するパンフレットを用意し、入所時に説明をしている。しかし、制度に関して、全職員で研修等を行っていない。	○	全職員が必要に応じて家族等に説明ができるように、内部研修等を行い、知識の習得に努めてほしい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所便りを季刊発行している。月1回、利用者の状況や写真を手渡しもしくは郵送している。緊急時には電話連絡を随時行っている。金銭管理については、立替金制度を家族の承認のもとに行っており、領収書のコピーを送っている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に家族の意見を聴取して意見交換ノートに記載し、管理者や全職員が問題点を認識して、事業所の運営に反映させている。苦情窓口の外部機関については、書面と口頭で家族に説明している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、職員の異動や離職について、できるだけ避けるよう努めている。やむをえない場合は、7日～10日間の引継ぎ期間を設け、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。日常的にユニット間で職員の行き来を行い、全利用者馴染みの関係を作れるよう配慮している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員採用にあたっては、性別や年齢等を理由に排除することはない。管理者は、職員の能力や長所を引き出すよう努めている。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権に関する内部または外部研修への取り組みはない。</p>	○	<p>内部または外部研修への参加の機会を設けて、人権教育を実施してほしい。</p>
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修の制度はあるが、職員の能力や段階に応じた研修計画を立てるまでに至っていない。</p>	○	<p>年間研修計画を立てて外部研修へ参加する機会を確保し、全職員に対する研修に取り組んでほしい。</p>
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の介護保険施設や同業者と連絡を取り合い、情報交換を行ってサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学や体験入所を行っている。また利用前に職員が病院訪問を行う等、馴染みの関係を築くよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>浴衣の着付けや床漬け、洗濯のたたみ方、野菜の植え方、利用者の生きた時代の歴史、文化、風俗等を教えてもらう場面がある。時には、職員の疲れを察して肩を揉むなど相互にいたわれ支えあう関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴をベースに利用者の性格を考慮して声かけを行い、意向の表出と把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画について、日頃から本人や家族の意見を聴き、毎週のカンファレンス会議で職員が意見やアイデアを出しながら検討し、作成している。家族の同意の署名があり、職員にも周知できるようにしている。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに介護計画を見直している。その他は利用者の変化や問題があれば、その都度見直しを行い、家族の意見や利用者の希望に沿ったケアができるように努めている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した時、早期退院に向けて支援している。病院のソーシャルワーカーと連絡を取り、必要な時には家族と一緒に状態の説明を聞くようにしている。病院の通院等も家族と相談して支援している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望するかかりつけ医での受診を支援している。また、家族と職員の連携のもと、受診や通院の支援を行っている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合や終末期のあり方については「重度化・看取りに対する指針」を作成している。契約時に家族に説明しており、全員の同意もある。また、折に触れ、家族と話し合いをし、医療機関を含め、全員で方針を共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者に対する態度や声かけに注意し、さりげない介護を心がけている。内部研修で利用者の誇りやプライバシーを損なわないケアについて学習している。また不適切な対応が見られた時は、管理者が職員を指導している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら、その日その時の気持ちを尊重して、起床や食事、外出等、一人ひとりのペースに合わせて支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒に配膳・片付けを行っている。また、職員1名が利用者と同じ物を食べ、他の職員は利用者の横に座り、介助に努めている。	○	利用者と職員が共に暮らす視点から、利用者と共に食卓を囲む職員は、同じ物を食べ、同じテーブルで一緒に味わいながら、利用者にとって食事が楽しいものとなるように支援してほしい。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の勤務体制にあわせて決まった時間に入浴しており、利用者の希望やタイミングに合わせての支援が十分とは言えない。入浴を拒否する利用者には、言葉かけや誘導で入浴を支援している。	○	業務内容の見直しや検討を行いながら、一人ひとりの希望する入浴を行うようにしてほしい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、利用者の生活歴からできることや得意なことを把握している。毎日の床漬けや料理、畑仕事、手芸・縫い物等、一人ひとりの力を活かした役割、楽しみごと等の支援をしている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や週1回のドライブ、外食等、日常的に外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は施錠していない。玄関にチャイムを設置している。職員は利用者の状態や外出傾向を把握して、併設事業所とも連携を図って見守り、チャイムに頼らず、施錠しないケアを実践している。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難誘導マニュアルを作成し、年2回は消防署や地域住民の協力を得て、避難訓練を実施している。また年2回は、専門業者の指導で消火器等を実際に使って訓練をしている。近隣の知的障害児施設と防災協定を結んでいる。非常用食料や備品は、準備している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が献立を作成し、栄養管理をしている。食事摂取量は全利用者分を記録し、水分摂取量は一部利用者分のみ記録している。	○	水分摂取量についても全利用者分を記録し、利用者の健康管理に努めてほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ユニットの居間に天窓があり、明るさに配慮している。家庭的雰囲気配慮した純和風の掘りごたつやソファ、椅子を設置し、居心地よく過ごせるよう配慮している。不快な音や声はなく、換気にも注意している。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はベッド・エアコン・カーテンを備え付けている。馴染みの筆筒・ソファ・鏡台・椅子・家族の写真等を持ち込み、その人らしい個性が感じられる居心地のよい居室となっている。		

※ は、重点項目。